

留 学 報 告 書

記入日：2018年1月18日

氏名及び連絡先	氏名：大越 彩夏
留学先国	タイ
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 (英) Srinakharinwirot University
留学期間	2017年1月～2017年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2017年12月25日
明治大学卒業予定年月	2019年3月

留学費用項目	現地通貨(バーツ)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	月 10,000	月 30,000 円	別途インターネット代
食費	月 5,000	月 15,000 円	
図書費	1,000	3,000 円	教科書代含む
学用品費	100	300 円	ほぼ日本から持参した
教養娯楽費	15,000	50,000 円	タイ語学校代
被服費	2,000	6,000 円	ほぼ日本から持参した
医療費	0	0 円	
保険費		60,000 円	大学保健
渡航旅費	70,000	230,000 円	一時帰国費も含む
雑費	20,000	60,000 円	旅行費など
その他(通信費)	月 500 バーツ	月 1,500 円	チャージ式の携帯電話代
その他(交通費)	月 800 バーツ	月 2,500 円	定期代
その他()		円	
合計	271,100	938,800 円	およその金額

渡航関連

渡航経路	羽田→スワンナブーム
渡航費用	チケットの種類 Fixed Ticket 往路 70,000 復路 60,000 合計 130,000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
H.I.S	
滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
アパートメント	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数： ）
住居を探した方法	
現地の日本人仲介業者に連絡を取り、紹介していただいた。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
慣れない海外生活において、自宅はリラックスできる場所だと思うので、自分が納得できる部屋を選んだほうが良いと思う。	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した；	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
アセアンセンターの方々に相談しました。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
在タイ日本大使館からの情報を参考にしていました。盗難に遭わないように気を付けていれば大丈夫だと思います。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。	
現地で使うスマートフォンを購入した。家や大学でWi-Fiが使用できたので、パソコンを利用する際はそれらを利用した。	

現地での資金調達はどのように行いましたか？

例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。

日本円を自宅で保管し、月初めにその都度両替をした。

現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

薬、スポーツ飲料の素 タイで入手はできるが、文房具などは持参したほうがいいと思う。

進路について

進路

就職 進学 未定 その他：在学

進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など

就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）

就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。

例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

何事にも挑戦することが大切だと思います。

学習についてのレポート	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
12 単位（4 科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 11 単位（4 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	AIRLINE BUSINESS SERVICES
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	International Colledge
履修期間	2 学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Mr.Isares Rungnarongruck
授業内容	飛行機の構造から航空会社の仕事内容などの講義とフィールドワーク
試験・課題など	マークシート形式と記述式の試験（中間と期末）、フィールドワーク後のレポート
感想を自由記入	元々航空業界に興味があったので、私にとって魅力的な授業でした。また、タイ国際航空の施設へのフィールドワークは貴重な経験でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	END USER BEHAVIOR
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	College of Social Communication Innovation
履修期間	2 学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Mr.Kraiwin
授業内容	
試験・課題など	Facebook を用いた課題提出
感想を自由記入	英語で講義が進められるが、時よりタイ語で話が進められたので理解できないところもあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	AGRICULTURAL ECONOMICS
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	Faculty of Economics
履修期間	1 学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Mr.Hiroyuki KONUMA
授業内容	現在の農業の実態から貧困や飢餓などのグローバルイシューまで幅広く学べた。
試験・課題など	中間・期末テスト、時より出される課題をメールで提出
感想を自由記入	グローバルイシューを農業分野からの視点で分析・解決を模索するのが興味深かった。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	INTRODUCTION TO MACROECONOMICS
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	Faculty of Economics
履修期間	1 学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	2 単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Asst.prof.Suppanunta Romprasert
授業内容	マクロ経済の基礎
試験・課題など	中間・期末、小テスト(クイズ)、プレゼンテーション
感想を自由記入	1 回の授業のボリュームが多かった。現地の学生とプレゼンテーションを作成するのが大変だったが、やりがいを感じた。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関して発生した事項を記入してください。（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2016年 1月～3月	
4月～7月	留学が決定する。資料作成
8月～9月	留学準備
10月～12月	英語やタイ語の勉強
2017年 1月～3月	渡航 1月上旬に授業開始 2月下旬に中間テスト
4月～7月	5月上旬に期末テスト
8月～9月	8月中旬に授業開始 10月上旬に中間テスト
10月～12月	12月上旬に期末テスト 12月末に帰国

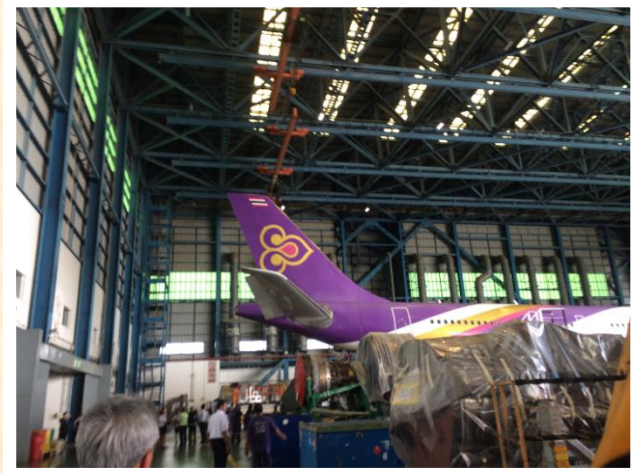
留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>大学生の間に海外に出て学んだり、異文化に触れたいという思いがあったからです。また、将来は何らかの形で海外に関わる仕事に就きたいと考えており、その第一歩として留学を考えました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>英語の勉強をもっとしておくべきだったと思っています。授業や友人とのコミュニケーションでは英語が必要不可欠です。相手が言っていることがわかって自分から上手く発信することができず歯がゆい思いをしたので、特にスピーキングの力を前々からつけるべきでした。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>何かと日本との関係が深いタイへ留学することが、将来的に自分のプラスになると思ったからです。また、以前参加した国際交流プログラムで交流した大学だったのも1つの決め手です。交流した学生の真面目さや優しさに触れ、彼らのような学生と一緒に学びたいと思ったのでこの大学を選びました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>キャンパス内に入るとゆったりした時間が流れているような、のんびりした雰囲気でした。真面目で優しい学生が多く、何かと声をかけてくれた。日本の学生より英語を堂々と話していたり、発言が多かった。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>寮ではなくアパートで一人暮らしをしていました。築年数が浅く、綺麗でした。</p>
<p>交友関係</p>	<p>優しい学生が多く、話しかけてきてくれたり、私が話す拙い英語を聞いてくれたりして交友が広がっていきました。授業終わりに一緒にご飯に行ったりと、楽しい時間を過ごせました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>所属学部に関係なく、自分が興味を持った講義を履修することができた。タイ語ではなく英語で開講されている授業もいくつかあるので安心できました。ペア作業の際には意思疎通が難しかったこともあったが、作業が終わったときは達成感を強く感じました。</p>

課題・試験について	私が受けた講義は課題がそこまで多くなかったが、毎週出されたのでコンスタントに勉強するようになった。試験は中間・期末の2回で、講義によってスタイルは異なるが、全記述式が多かった。
大学外の活動について	タイ語学校に通っていました。おかげで簡単な会話や簡単な文章を読むことができるようになりました。また、ASEAN 諸国に度々旅行に行きました。日本やタイとはまた違う雰囲気に触れ、ますます東南アジアが好きになりました。
ある平日のスケジュール	7時半：起床、9時半～12時半：授業、昼食、14時～17時：語学学校、夕食、19時～23時：復習・自由時間、24時：就寝
ある休日のスケジュール	休日には市内のお寺や近隣国に旅行に行っていました。
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと	自分が何のために留学をし、何を心得て帰りたいのかをはっきりさせておくことが大切だと思います。せっかく日本から離れ、異国の地に行くので、そこでしか学べないことや感じられないことを自ら進んで吸収することも重要です。



アセアンセンターにて



Airline Business Services の授業で
タイ航空の技術部門を見学



11月に開催される
コムローイにて

